～～*～

＜参考＞Web マガジン第 212 号・コラム第 158 回「新型コロナに関わる社会的損失について＜Part１＞」」
https://www.kobayashiyoko-com.jp/sn/info_web212.html

同じく、本コラム第 159 回「新型コロナに関わる社会的損失について＜Part２＞」では、「PCR 検査の偽陽性・偽陰性の問題」について指摘しました。

さらに「あらゆる感染症には「最小発症菌数」という考え方がある点」をお伝えしました。

＜参考＞Web マガジン第 213 号・コラム第 159 回「新型コロナに関わる社会的損失について＜Part２＞」
https://www.kobayashiyoko-com.jp/sn/info_web213.html

しかしまことに残念ながら、メディアによる報道等では今だに「PCR 検査の陽性者を「感染者数」として発表されるという誤報が続いています。

同様に、ウイルス検査には適さない「PCR 検査」の「無料検査所（実際は無料ではなく国税の浪費)」が各地に多数作られ、単なる陽性者が「感染者」とされてしまうため、無駄に医療リソースが浪費され、医療現場の逼迫を招きました。

相変わらず、このような間違った認識、政策・施策、報道等によって、（日本で特に）多大なる「社会的損失」が続いています。

２．間違った「感染者数」報道で、新型コロナが大流行という誤報について

現在、日本国民の８割が「新型コロナワクチン」を接種したと言われます。

本来のワクチンは「弱毒化したウイルスを体内に入れることで抗体を作る」ものであったはずです。

であれば、８割の人が「陽性」となるはずですし、もしそうでなければ「抗体も作られていない」ことになります。

相変わらずの「陽性」を「感染」とする誤報も含め、改めて「新型コロナが大流行」という誤報の馬鹿らしさがおわかりいただけるかと思います。

３．オミクロン型に対応したワクチンの特例承認について

厚生労働省は 9 月 12 日、新型コロナウイルスのオミクロン型に対応したというワクチンの製造販売を特例承認しました。

今回、特例承認されたのは「オミクロン型の派生型「BA.1」に対応」したワクチンで、早ければ「9 月中にも接種開始」できるようになるのだそうです。

しかし、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株は、すでに「BA.4 系統、BA.5 系統」

まで進み、既存のオミクロン株と比較して重症度の上昇につながる証拠はみられないとされます。

＊ちなみに、別名「ケンタウロス」と呼ばれた変異株は「BA.2.75」です。

さらに、国立感染症研究所でも「オミクロン株の組換え体は、ほとんどの形質がまだ明らかでは無く、分類法も含めて今後の国内外の動向を注視する」としています。

［出典］国立感染症研究所 Web サイト
https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2551-cepr/11257-covid19-18.html

にもかかわらず、岸田文雄首相は「オミクロン型「BA.1」対応ワクチンの接種券を配布し、会場確保を行い、1 日 100 万回を超えるペースの体制を整備して接種を加速する」と言っています。

同じく政府は、自衛隊が運営する大規模接種会場も活用する方向で調整し、自治体も高齢者からの接種を進め、医療従事者を含むエッセンシャルワーカーにも接種を広げるとしています。

このようなことをして、何の意味があるというのでしょうか。

誤報や間違った政策・施策に踊らされることなく、正しい知識・認識を身につけ、冷静に「命を守る防災」を実践していきたいものですね。

by Hirono

～～*～

- 津波が発生したら…その時どうする？
- 地震で火災発生 その時どうする？
- 停電時の注意点と便利なライトの使い方
- 避難生活…ここに気をつけて！
- 地震そのあと 生活再建のポイントは？

NHK 22.8.27　日本列島「地震への備え」特選コンテンツ
https://www3.nhk.or.jp/news/special/saigai/natural-disaster/natural-disaster_19.html

～～*～

に見えます。この変動は、日向灘南部のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

石川県能登地方では、2020 年 12 月頃から「能都」で南南西方向の変動が、「珠洲」で隆起が見られるなど、この地域の地震活動とほぼ同期して地殻変動が観測されています。

2022 年 2 月頃から沖縄本島北西沖で発生している地震活動とほぼ同期して、久米島の「具志川」で、南南東方向に小さな地殻変動が観測されています。

硫黄島では、「硫黄島１」及び「Ｍ硫黄島Ａ」で隆起が、「硫黄島２」で南向きの変動が継続しています。

諏訪之瀬島では、「十島」で 2022 年 6 月頃から南東向きのわずかな変動が見られます。

国土地理院 22.9.8　令和 4 年 8 月の地殻変動
https://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/2022-goudou0908.html

～～*～

〒182-0023　東京都調布市染地 2-14-50
SignalNow シリーズの開発・配信事業を行っています。
緊急地震速報　地震動の予報業務の許可事業者　許可第 198 号
http://www.estrat.co.jp/

・～・・～・～・～・～・～・～・～・編　集・～・～・～・～・～～・～・～・～・

株式会社小林洋行コミュニケーションズ　SignalNow デスク
〒103-0014　東京都中央区日本橋蛎殻町 1-15-7
https://kobayashiyoko-com.jp/sn/

Copyright 2022 Strategy Corporation.